

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-52009

(43)公開日 平成5年(1993)3月2日

(51)IntCl⁵

E 0 4 D 13/15

13/06

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

T 7416-2E

1 0 7 A 7416-2E

審査請求 未請求 請求項の数 2(全 6 頁)

(21)出願番号 特願平3-209502

(22)出願日 平成3年(1991)8月21日

(71)出願人 000002174

積水化学工業株式会社

大阪府大阪市北区西天満2丁目4番4号

(72)発明者 神 貞三

埼玉県坂戸市鶴舞4-8-21

(72)発明者 大喜多 勝巳

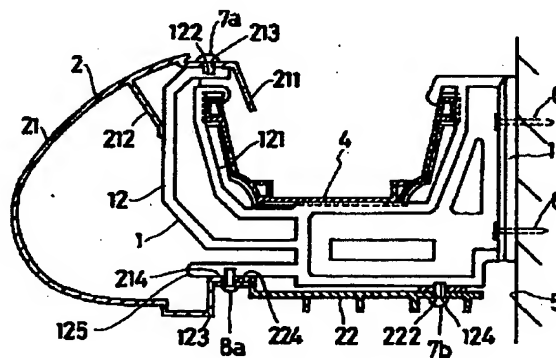
滋賀県大津市日吉台4-9-14

(54)【発明の名称】 軒樋支持装置

(57)【要約】

【構成】 カバー部材2が、樋受具1及び樋受具1の樋受部12に支持された軒樋4の前面を覆うことができる前面カバー部21と、樋受具1及び軒樋4の下面を覆うことができる下面カバー部22と、を備えていると共に、樋受部12の下面に前面カバー部21の下端部と下面カバー部22の前端部を重ねてビスで固定する。

【効果】 カバー部材により、樋受具及び軒樋を前面は勿論下面からも覆い隠されているので、外観が良いし、又、カバー部材が前面カバー部と下面カバー部とに分割されているので、カバー部材の取扱いが楽になる。更に、前面カバー部の後端部と下面カバー部の前端部を重ね合わせて取り付けることができるので施工が容易である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 建物の軒先部材に固定される固定部と軒樋を支持する樋受部とを有する樋受具と、該樋受具に固定されるカバー部材と、を備えている軒樋支持装置において、前記カバー部材が、樋受具及び、該樋受具の樋受部に支持された軒樋の前面を覆うことができる前面カバー部と、前記樋受具及び軒樋の下面を覆うことができる下面カバー部と、を備えていると共に、前記樋受部の下面において前記前面カバー部の下端部と下面カバー部の前端部を重ねて固着されていることを特徴とする軒樋支持装置。

【請求項2】 カバー紐手の本体部の両側にカバー部材の端部と嵌合可能な接続部が形成されたカバー紐手を備え、カバー紐手の接続部にカバー部材の端部が嵌合されている請求項1の軒樋支持装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、建物の軒先部材に軒樋を取り付ける際に使用する軒樋支持装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の軒樋支持装置としては、例えば、実公昭57-30335号公報等に記載されているようなものが知られている。この従来装置は、垂木や壁等の建物の軒先部材に固定される固定部と軒樋の後側部及び下部を支持する樋受部とを有する樋受具と、該樋受具の樋受部の先端部に取り付けられて軒樋の前側部を支持すると共に前記樋受具及び軒樋の前面を覆うカバー部材とで構成されている。カバー部材で樋受具及び軒樋の前面を覆い隠すことのできるこの軒樋支持装置は、特に外観が重要視される高級住宅において好適に使用されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このような従来の軒樋支持装置にあつては、カバー部材が樋受具及び軒樋の前面しか覆い隠すことができない形状に形成されているために、少し離れた位置から建物を見たときには樋受具及び軒樋がカバー部材で隠れて見えないようにすることができるものの、近づいて建物を見たときには樋受具及び軒樋がカバー部材と建物の軒先部材との隙間から見えて見苦しいという問題があった。

【0004】本発明は、上記従来の問題に着目し、離れた位置から建物を見たときだけでなく近い位置から建物を見たときでも樋受具及び軒樋がカバー部材に隠れて見えないようにすることができる軒樋支持装置を提供することを目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するための手段として、本発明の軒樋支持装置は、建物の軒先部材に固定される固定部と軒樋を支持する樋受部とを有する樋受具と、該樋受具に固定されるカバー部材と、を備

えている軒樋支持装置において、前記カバー部材が、樋受具及び、該樋受具の樋受部に支持された軒樋の前面を覆うことができる前面カバー部と、前記樋受具及び軒樋の下面を覆うことができる下面カバー部と、を備えていると共に、前記樋受部の下面において前記前面カバー部の下端部と下面カバー部の前端部を重ねて固着されている。

【0006】また、カバー部材の継ぎ目に隙間が生じないようにするためには、カバー紐手の本体部の両側にカバー部材の端部と嵌合可能な接続部が形成されたカバー紐手を備え、カバー紐手の接続部にカバー部材の端部が嵌合されていることが好ましい。

【0007】

【作用】本発明の軒樋支持装置は、カバー部材が、樋受具及び、該樋受具の樋受部に支持された軒樋の前面を覆うことができる前面カバー部と、前記樋受具及び軒樋の下面を覆うことができる下面カバー部と、を備えているので、樋受具及び軒樋の前面を覆い隠すと共に、前記樋受具及び軒樋の下面を覆い隠すようにカバー部材を樋受具に固定することができる。

【0008】また、カバー部材が、前面カバー部と下面カバー部とに分割されているので、カバー部材の取扱いが大きさ及び重量の面で楽になる。また、少し離れた位置から見ると前面カバー部と下面カバー部の継ぎ目が見えることもない。

【0009】更に、前記樋受部の下面に前記前面カバー部の下端部と前記下面カバー部の前端部を重ねて固着されているので、カバー部材を樋受具に固定する場合には、前面カバー部の下端部と下面カバー部の前端部を重ねて樋受部の下面に取り付けることができる。

【0010】

【実施例】まず、図1～図4に基づいて本発明実施例の構成を詳述する。図4は軒樋を建物の軒先部材に取り付けた状態の実施例の軒樋支持装置を前方から見た図で、図中1は樋受具、2はカバー部材、3はカバー紐手、4は軒樋である。

【0011】前記樋受具1は合成樹脂による射出成形品で、図1に示すように、建物の軒先部材に固定される固定部11と、軒樋4を支持させる樋受部12とで構成されている。前記固定部11には釘が通る貫通穴111が数個形成されている。また、前記樋受部12の中程部上面には軒樋4を嵌合可能な凹部121が形成され、前記樋受部12の先端部上面にはモノボルトをねじ込むことができる有底穴122が形成されている。更に、前記樋受部12の中程部下面から前向きに横片125が形成され、該横片125の下面にはモノボルトをねじ込むことができる有底穴123が形成されている。

【0012】前記カバー部材2は合成樹脂による押出成形品で、図2に示すように、前記樋受具1及び、この樋受具1の樋受部12に支持された軒樋4の前面を覆うこ

10

20

30

40

50

3

とができる前面カバー部21と、前記樋受具1及び軒樋4の下面を覆うことができる下面カバー部22とで構成されている。尚、前面カバー部21は、外側に大きく膨らんだ湾曲形状に形成されており、前記下面カバー部22は、ほぼフラット形状に形成されている。

【0013】また、このカバー部材2は、前面カバー部21と下面カバー部22とに分割されている。前記前面カバー部21の上端部には後下がり折曲片211が形成され、且つこの折曲片211からやや下がった位置には後下がり長めのリブ212が形成されている。また、前面カバー部21の下端部には上方向に開口した溝型形状に形成され、その先端は後向きに突出部214が形成されている。前記下面カバー部22には下向きに短めのリブ221が一定の間隔置きに形成され、下面カバー部22の前端部には上方向に若干立ち上がり、そして、その先端には前向きに突出部224が形成されている。又、該下面カバー部22の突出部224と、前記前面カバー部21の突出部214にはモノボルトをねじ込むことができる貫通穴225、215が形成されている。更に、前記前面カバー部21の上端部と下面カバー部22の後端部には、モノボルトをねじ込むことができる貫通穴213、222が形成されている。

【0014】前記カバー継手3は合成樹脂による射出成形品で、図3に示すように本体部30の両側に、カバー部材2の端部に嵌合可能な接続部300が形成されている。前記本体部30は、前記カバー部材2の下面カバー部22と同一断面形状に形成された前板部31と、前記カバー部材2の下面カバー部22と同一断面形状に形成された下板部32とで構成されている。各接続部300は、前記本体部30の前板部31と下板部32とをカバー部材2の肉厚分内側にへこませた形状に形成されている。

【0015】また、このカバー継手3は、前面継手部3aと下面継手部3bとに分割されている。前記前面継手部3aの本体部30の上端部にはカバー部材2の折曲片211と同一断面形状の折曲片311が形成され、この折曲片311からやや下がった位置にはカバー部材2のリブ212と同一断面形状のリブ312が形成されている。また、前面継手部3aの本体部30の下端部には上方向に開口した溝型形状に形成され、その先端は後向きに突出部314が形成されている。下面継手部3bの下板部32には前端部が上方向に立ち上げられ、その先端は前向きに突出部324が形成されている。更に、前記下面継手部3bには、カバー部材2のリブ221と同一断面形状のリブ321がカバー部材2のリブ221と対応した位置に形成され、下面継手部3bの前端部には前記前面継手部3aの下端部の突出部314に重畳せられる突出部324が形成されている。更に、前記前面継手部3aには下端部の突出部314及び上端部と、下面継手部3bには前端部の突出部324及び後端部には、

4

モノボルトをねじ込むことができる貫通穴315、313、325、322が形成されている。

【0016】次に、図4～図6に基づいて実施例の作用を説明する。前記軒樋支持装置を使用して壁や垂木等の建物の軒先部材5に軒樋4を取り付ける場合には、まず、樋受具1を釘6で建物の軒先部材5に対し一定の間隔置きに固定する。そして、各樋受具1の樋受部12に形成されている凹部121に軒樋4を嵌合させて取り付ける。

【0017】次に、各カバー部材2を樋受具1に固定するが、その前に、カバー部材2の端部が設置される位置にある樋受具1にカバー継手3を固定する。前面継手部3aの固定は、前面継手部3aの上端部を樋受部12の先端部上面にモノボルト7cで固定すると共に、前面継手部3aの下端部を樋受具1の横片125にビス8bで固定する。下面継手部3bの固定は、下面継手部3bの前端部の突出部324と前記前面継手部3aの下端部の突出部314を重ね合わせて、樋受具1の横片125にビス8bで固定する。下面継手部3bの固定は、下面継手部3bの後端部を樋受部12の後端部下面にモノボルト7dで固定する(図6参照)。

【0018】そして、各カバー部材2を、カバー継手3の接続部300の外側に端部が嵌合するようにして樋受具1に固定する。前面カバー部21の固定は、前面カバー部21の上端部を樋受部12の先端部上面にモノボルト7aで固定する。そして、下面カバー部22の後端部を樋受部12の後端部下面にモノボルト7bで固定する。前面カバー部21の下端部の突出部214と下面カバー部22の前端部の突出部224とを重ね合わせて樋受具1の横片125にビス8aで固定する。

【0019】以上説明したように、本実施例の軒樋支持装置にあっては、樋受具1及び軒樋4の前面を覆い隠すと共に樋受具1及び軒樋4の下面を覆い隠すようにカバー部材2を樋受具1に固定することができるので、離れた位置から建物を見たときだけでなく近い位置から建物を見たときでも樋受具1及び軒樋4がカバー部材2に隠れて見えないようにすることができる。

【0020】しかも、カバー継手3の本体部30の両端に、カバー部材2の端部と嵌合可能な接続部300を有するカバー継手3を備え、該カバー継手3の本体部30が、樋受具1及び軒樋4の前面を覆う前板部31と、前記樋受具1及び軒樋4の下面を覆う下板部32とを備えているので、カバー部材2の継ぎ目にも隙間が生じないようにすることができる。

【0021】また、下面カバー部22の前端部の突出部224に設けられた貫通穴215と、前面カバー部21の下端部の突出部214に設けられた貫通穴225にビス8を挿通して樋受部12の横片125に設けられた有底穴123にねじ込んで固定することができるので、カバー部材2を樋受具1に固定する際の施工性がよい。

5

【0022】更に、カバー部材2が、前面カバー部21と下面カバー部22とに分割されているので、カバー部材2の取扱いが大きさ及び重量の面で楽になる。また、少し離れた位置から見ると前面カバー部21と下面カバー部22の継ぎ目が見えることもない。

【0023】また、各カバー部材2に形成されている折曲片211及び、カバー継手3に形成されている折曲片311は、樋受具1に支持されている軒樋4の内側に配設される。従って、勢いよく流れ落ちた雨水は両折曲片211、311に当たって軒樋4内に跳ね返されるため、カバー部材2の上端部と軒樋4の上端部との間からカバー部材2の内側に雨水が侵入するのを防止することができる。

【0024】また、各カバー部材2の前面カバー部21に形成されているリブ212及びカバー継手3の前板部31に形成されているリブ312が樋受具1の前面に当接して、カバー部材2の前面カバー部21及びカバー継手3の前板部31は樋受具1に支持される。従って、カバー部材2とカバー継手3に前方から衝撃が加わった場合におけるこれらの変形を抑制することができる。

【0025】以上、本発明の実施例を図面により詳述してきたが、具体的な構成はこの実施例に限られるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲における設計の変更等があっても本発明に含まれる。

【0026】例えば、実施例では、樹脂製の樋受具を使用した。が、金属製の樋受具を使用してもよい。また、実施例では、カバー部材の固定をビスやモノボルト等の固定具を用いて行った例を示したが、固定具との代用あるいは固定具との併用で接着剤を使用してもよい。

【0027】また、カバー継手の下板部の後端部にも鉤形の立ち上がり片を形成して、この立ち上がり片を樋受具の突出部に支持及び係止できるようにしてもよい。

【0028】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の軒樋支持装置にあっては、樋受具及び、該樋受具の樋受部に支持された軒樋の前面を覆い隠すと共に、前記樋受具及び軒樋の下面を覆い隠すようにカバー部材を樋受具に固定することができるので、離れた位置から建物を見たときだけでなく近い位置から建物を見たときでも樋受具及び軒樋がカバー部材に隠れて見えないようにすることがで

6

き、優れた外観を得ることが可能である。

【0029】また、カバー部材が前面カバー部と下面カバー部とに分割されているので、カバー部材の取扱いが大きさ及び重量の面で楽になり、特に、カバー部材を樋受具に固定する作業の負担が小さくなる。また、少し離れた位置から見ると前面カバー部と下面カバー部の継ぎ目が見えることもない。

【0030】更に、前面カバー部の後端部と下面カバー部の前端部を重合わせて取り付けできるので、カバー部材を樋受具に固定する際の施工性がよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施例の軒樋支持装置の樋受具を示す斜視図である。

【図2】実施例の軒樋支持装置のカバー部材を示す斜視図である。

【図3】実施例の軒樋支持装置のカバー継手を示す斜視図である。

【図4】実施例の軒樋支持装置で軒樋を建物の軒先部材に取り付けた状態を軒樋支持装置の前方から見た図である。

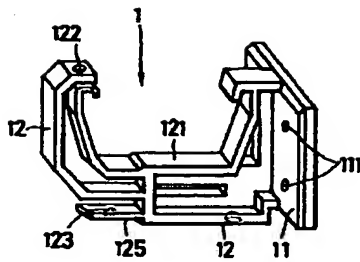
【図5】図4のV-V断面図である。

【図6】図4のVI-VI断面図である。

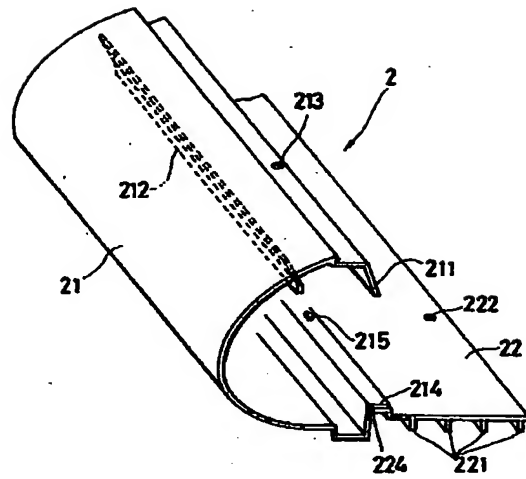
【符号の説明】

- 1 樋受具
- 11 固定部
- 12 樋受部
- 125 横片
- 2 カバー部材
- 21 前面カバー部
- 214 突出部
- 22 下面カバー部
- 224 突出部
- 3 カバー継手
- 30 本体部
- 300 接続部
- 31 前板部
- 32 下板部
- 4 軒樋
- 5 軒先部材

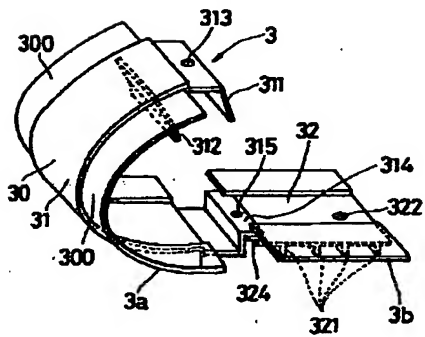
【図1】



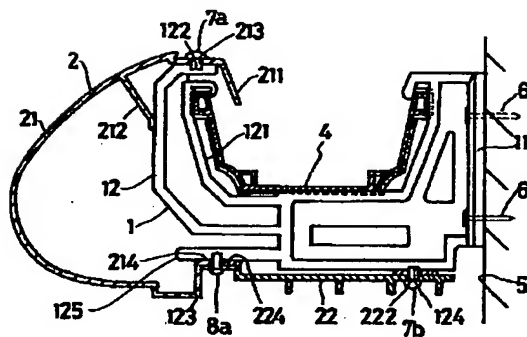
【図2】



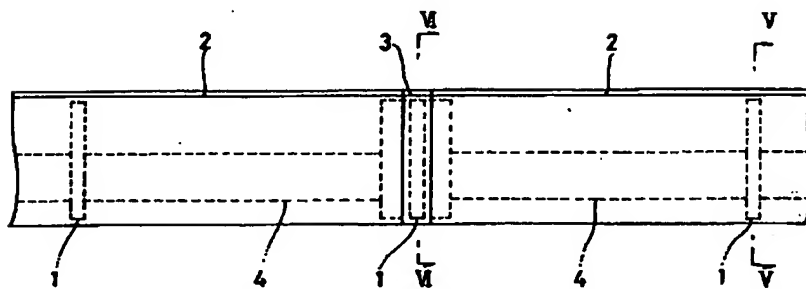
【図3】



【図5】



【図4】



【図6】

